

庄内町地域公共交通会議 会事録

- 1 開催日時 平成30年3月22日(木) 午前10時00分～11時10分
- 2 開催場所 庄内町役場 西庁舎 第2会議室
- 3 出席者 庄内町副町長 阿部 金彦
東北運輸局山形運輸支局 首席運輸企画専門官 保坂 浩昭
(一社)山形県バス協会 庄内交通(株) 取締役 高橋 広司
(一社)山形県ハイヤー協会 余目タクシー(有) 代表取締役 後藤 一司
庄内町自治会長会 第四学区自治会長会 佐藤 一
酒田河川国道事務所道路管理課長 代理 専門員 阿部 淳
庄内総合支庁 道路計画課 課長補佐 白澤 真一
庄内総合支庁 総務課連携支援室長代理 室長 松澤 勝志
庄内警察署 署長 佐藤 隆治
庄内町商工会 理事 (有)立川タクシー 代表取締役 阿部 豊
(社福)庄内町社会福祉協議会 総務福祉課福祉係 小林 翠 (計9名)
- 4 事務局 情報発信課 課長 小林 裕之
課長補佐兼地域振興係長 加藤 淳
地域振興係主任 土田 春奈

委嘱状交付 (10:00)

1 開 会

2 あいさつ

3 報 告

(1) 庄内町営バスの運行情報について

(2) 庄内町デマンドタクシー運行状況について

委員/市街地循環線を10月より開設したとのことだったが、予定と較べて乗車状況はどうか?

事務局/想定の半分ぐらいである。倍の乗車を目指したい。

委員/ゴールド、シルバーパスの利用率はいかがか?

市街地循環線の本数が多すぎてかえって利用しづらい。

事務局/以前は、年齢になると自動でゴールド・シルバーパスを配布していたが、事務負担が過大のため、申請主義に変更している。

現在、ゴールド、シルバー併せて年間10名ほどが申請している。

委員/受託してデマンド及び市街地循環線を運行しているが、シルバー・ゴールド

バスをどうやってもらえばいいか、という質問が多い。警察署で免許返納を行った際に手続きできるよう調整を図れないか？

また、以前の乗客は高齢女性のみだったが、免許返納の推進により高齢男性の乗車が目立つようになってきた。制度があつてありがたい旨の言葉を頂戴している。

市街地循環線は、当社で作成した時刻表を別に渡していて好評だ。

事務局／免許返納の担当部署と調整を図り、一か所で申請できるように図っていく。

議長／市街地循環線は、地味が目立たないため、予算がかかるが皆さんから親しまれるようにしていく必要がある。鶴岡酒田のようにボンネットバスにする、色をつけるなど考えられる。

4 協 議 自家用有償旅客運送の変更登録申請について

(1) 運行路変更について

議長／ルート変更よりJRに頼んで拡張してもらうことは考えなかったか？

事務局／県道であるので。

委員／同様の案件を以前、最上で行ったことがあるが、1億円/1箇所かかり、時間とお金がかかりすぎて難しい。また、最近JRは安全性の確保により立体交差を進めており、制度変更等あれば時間がかかり住民の合意形成に時間がかかる。そのため、ルート変更でよろしいかと。

委員／運行路及びバス停については、事前に協議を行い、安全であると確認できる。

→ (1)について合意

(2) 運転者の変更について

意見等なし

→ (2)について合意

5 そ の 他

委員／立川商工会前のバス停に待合室をつくってもらえないか？30分以上待っている乗客がいる。

事務局／バス待合室の設置については、住みやすい地域づくり活動交付金を使い、自治会より申請をもらっていて、半額補助となっている。

委員／全国的にバス停がなくなってきていて、店、人が集まる場所をバス停にしている。

実際に乗っている人に入って本当に使ってもらう路線をつくるのが大切。住民との協議が必要となっている。

6 閉 会

(11:10)